丹波縄文の森塾 活動報告

令和6年5月18日(土) 晴



開塾式



田植え体験



凮食



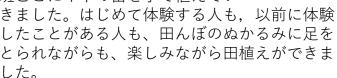
里山遊び



里山の自然にふれ、自然体験にチャレンジする丹波縄文の森塾がはじまりました。丹波篠山市、丹波市の小学生3年生から6年生約30人が丹波の森公苑に集合しました。仲間と共に「分かち合う心」「相手を思いやる心」を大切にしながら、縄文の森塾で様々な体験を通して多くを学んでほしいと思います。

第1回目の体験は、名札づくり、田植え、里山遊びでした。名札づくりでは、木材を輪切りにして表面をみがき、ニス塗りされた木片に、自分で名前やイラストを描いてオリジナル名札を作りました。

続いて新しく作られた田んぼでの田植え体験。まず杉本指導員に田植えの仕方を教えていただき、 班ごとにイネの苗を手で植えてい



きょうの昼食はカレーライスとゼリー。調理 担当のサポーターに朝から準備していただいた カレー。感謝していただきました。とってもお いしくて、おかわりする人もたくさんいました。

午後は濵畑指導員とともに里山でのゲームをみんなで楽しみました。ジャンケンゲーム、色々なものにタッチするゲーム、班で列を作って遊ぶゲームなど、どれも盛り上がっていつの間にか時間が過ぎていました。

サポーターのご厚意でおみやげ にカブトムシの幼虫をいただきま した。ペットボトルを活用して作 られた手作りの容器にカブトムシ



の幼虫が入っています。成虫になるのが楽しみですね。成虫になるまで観察しながら大切に育ててください。